



10月度議員懇談会

北陸技術交流テクノフェア及び会員大会について懇談

10月度議員懇談会を10月1日午前11時から福井商工会議所ビル地下国

際ホールにて開催した。

開会にあたり勝木副会頭は「いざ



なぎ景気を越える景気となっており、県内経済はいい状態で動いている。しかし、北陸新幹線の早期開業や、敦賀以西の建設、中部縦貫道のあり方など、取り組まなければいけない課題が多くある。課題解決に向けてのために商工会議所として尽くしていきたい」と挨拶した。

続いて、福井県工業技術センター強力真一所长より、宇宙産業参入支援など、福井県のオープンイノベーションに関する取り組みをテーマに卓話が行われた。



同センターの取り組みを説明する強力氏

その中で同氏は、産学官金で連携して技術的課題の解決を図る「ふくいオープンイノベーション推進機構」の具体的な事業を紹介。同センターは宇宙産業への参入に向けた取り組みとして、自治体初の人工衛星打ち上げを目指している。その一環で、衛星から得られるデータを活かしたビジネスモデルの創出を目的とした「県民衛星プロジェクト」や宇宙関連産業に関する調査・研究などを目的とした「ふくい宇宙産業創出研究会」などについて解説した。また、医療産業の参入支援事業やIoT活用推進に関する事業なども合わせて示され、企業に対する同センターの幅広い技術開発支援施策が紹介された。

続いての懇談事項では、10月26日(木)・27日(金)に実施される第28回北陸技術交流テクノフェア2017の開催概要について、テクノフェア実行委員会委員長の佐々木輝明氏が説明した。

次に、第2回福井商工会議所会員大会について会員大会実行委員長の伊東副会頭から進捗の説明と当日の参加要請を行った。

最後に、各課より開催予定のセミナーや中小企業支援の取り組み、アンケート調査結果などについて報告がなされました。